企業の社会的責任（CSR）の情報開示に関する研究

研究内容

昨今、企業の情報開示は財務情報だけの開示ではなく、非財務情報に関する企業の情報開示が一層重要視されている。しかしながら、多くの企業はCSRに関する情報を開示しない、或いはCSR情報を開示するが、CSRの情報開示の行動を形骸化し、不完全な開示内容と企業のイニシアティブの欠如で開示したCSR情報の評価が低いなど問題がある。それとともに、学術研究においても、CSR情報開示の行動については、社会的責任を開示することは企業価値を損ない、発展を妨げるという批判派と、CSRの情報開示の行動は企業価値を高め、企業の成長を促すという擁護派の二つの声がある。

以上のように、CSRの情報開示に対する関心が高まってきた一方、CSR情報の開示のインパクトには検討すべき問題がある。企業統治の観点から企業におけるCSR情報の開示と利用の役割を解明することを目的とする。

地域・産学連携の可能性

企業は経済目的としての利益の追求だけではなく、社会の一員として、人権の尊重や環境への配慮、地域社会への貢献、適正な雇用と労働条件の設定、消費者に対する適切な対応などを行わなければなりません。CSRには企業側にもたらされるメリットとしては、企業価値・企業イメージの向上、利害関係者との関係強化、従業員満足度の向上、コンプライアンス違反の防止などにまとめます。

- 企業の交流会などにおいて、企業の不祥事の予防とかについてご紹介したいと考えております。
- 企業が作成したCSR報告書、サステナビリティレポーティングなどについて、第三者として評価することも可能です。
- コンプライアンス、リスク管理及びCSRなど、すべての企業にとって重要な経営課題の取り組みをサポートすることも可能です。

【要　旨】

近年、CSR情報開示と企業の指導的地位に女性が占める割合の拡大が問題となっている。国際的にも情報開示ガイドラインや、企業の指導的地位に女性が占める割合を増やすことがより明白に規定されるようになっている。これまでのCSR情報開示と指導的地位に女性が占める割合の増大が企業業績へ与える影響についての研究は、単にCSR情報を開示する行動、または女性役員比率が企業の財務業績へ与える影響に注目してきた。ただしGRIスタンダードやISO26000など国際的に主要な開示基準に基づいた開示であるか、CSR情報の開示レベルについても加味し、また社内外の女性取締役が企業の財務業績以外のESG評価へ与える影響についても、取締役会の諸要因を考慮して分析することが課題として残されている。

発表論文要旨一部

このテーマに関連するSDGs開発目標

ライフデザイン学部 経営デザイン学科　企業倫理、企業統治

黎 敏利 LI Minli

講師、博士（経営学）

URL https://researchmap.jp/liminli5

執筆論文　日中企業における CSR 情報開示に関する実証研究― ダイバーシティの影響について、経営哲学、2023 年、19（2）。

KeyWord　企業の社会的責任（CSR）、情報開示、企業統治、ダイバーシティ